

# 品 沖繩市 議会だより

第74号

令和4年8月22日



Okinawa City Assembly News 2022

令和4年5月臨時会・6月定例会



令和4年第421回沖縄市議会6月定例会が、6月15日から7月8日までの24日間の会期日程で開かれました。6月定例会は、令和4年度沖縄市一般会計補正予算(第2号)ほか35件の議案等が審議されました。

## 主な内容

代表質問……………p2 議員表彰など……………p14 ~  
一般質問……………p7

市議会ホームページは  
こちらから▶



## \*お知らせ\*

現職議員の任期につきましては、平成30年9月28日から令和4年9月27日までの4年間となっております。来る9月11日(日)に沖縄市議会議員選挙が実施され、今後、新たな顔ぶれで議会活動が始まります。

### 投票日 令和4年9月11日(日)

- ・投票時間/午前7時~午後8時まで
- ・持参するもの/投票所入場整理券
- ・投票できる方  
平成16年9月12日迄に出生した方で、令和4年6月3日迄に沖縄市に転入届をし、投票日まで引き続き沖縄市に居住している方

#### ○期日前投票について

場 所/沖縄市役所1階市民ホール、産業交流センター、農民研修センター 期 間/9月5日(月)~9月10日(土)  
時 間/沖縄市役所:午前8時30分~午後8時 産業交流センター・農民研修センター:午前9時30分~午後8時  
※期日前投票を行う方は、投票所入場整理券を持参して下さい。

#### ○不在者投票について

仕事や旅行等で市外に滞在されている人や病院に入院中の人など投票所で投票ができない人は、滞在先(市外の市町村、県が指定する病院等)で不在者投票を行うことができます。投票するためには、事前に手続きが必要です。

※詳しくは選挙管理委員会事務局までお問い合わせ下さい。

問合せ/選挙管理委員会事務局 098-939-1212(内線 2057)

# 代表質問

市政を問う



令和4年第421回定例会における代表質問は、2日間にわたり10会派から10人の議員が会派を代表して、施政方針や市政全般にわたる諸問題について質問を行いました。紙面の都合により一人2項目を要約して掲載しております。

なお、詳しい内容につきましては、会議録を市立図書館、自治会事務所でご覧になるか、沖縄市議会ホームページにて会議録検索システムもご利用いただけますのでご活用ください。

## 議会傍聴について

いつも市議会に関心をお寄せいただき、誠にありがとうございます。

傍聴にお越しくくださる皆様の健康を守る観点から、新型コロナウイルス感染拡大の影響が収束されるまでの間、議会の傍聴をご遠慮いただきますようお願いいたします。

なお、皆様におかれましては、インターネット中継をご視聴いただきますようお願いいたします。

「じぶん」が夢と希望をもてる沖縄市に  
こころ



公明党  
上地 崇 議員

**Q** 子どもの貧困対策について、市長の考えを伺う。

**A** 市長 未来をつくる子供たちは希望であり、宝であります。子供たちに暗い影を落とす貧困問題に果敢に取り組んでいくことで10年後、20年後の子供たち一人ひとりの自立した成長が、沖縄市の将来のさらなる発展へとつながっていくものであります。子供たちが生まれ育った家庭環境に左右されることなく、笑顔あふれるまちを築くため、発達段階に応じた適切な支援を講じながら、地域や企業等の御協力も仰ぎながら各種施策に取り組んでいきます。

**Q** ヤングケアラー支援の実態調査及び今後の方針を伺う。

**A** 子どものまち推進部長 家庭児童相談室で関わりある世帯の中で、ヤングケアラーと思われる子供たちの支援を行っています。一方で、発見に至っていないヤングケアラーへの適切な支援も必要であることから、今後、関係部署と連携し、調査の実施に向けて調整を進めます。ヤングケアラー状態である子供が把握された場合、世帯状況に応じた子育てや福祉サービス、社会資源の案内など、子供への負担軽減が図られるよう支援して

誰もが安心できる「暮らし」を支える沖縄市について

**Q** 防災教育の充実について教育長の見解を伺う。

**A** 教育長 学校現場では学校保健安全法に基づき、学校安全計画の策定や危機管理マニュアルの作成、地震や津波などに対する避難訓練などを通して防災教育の充実に努めています。また、平成24年度から東部4つの小学校でクラブ活動の時間を活用し、防災教育を推進しています。本市には、県内最年少で防災士取得試験に合格した中学生があり、その生徒が防災士兼防災リーダーとして、小学校の防災クラブにおいて小学生の児童に対し、防災の大事さ、危機管理のあり方などについて説明をする取組も予定をしています。今後は、このような防災クラブの取組を校長会、教頭会などを通して紹介しながら、防災クラブの拡充に努めます。

### その他の主な質問

- 東部海浜開発地区「潮乃森」について
- 観光バリアフリーの推進について





創志  
仲宗根 誠 議員

## 創業起業支援、企業誘致について

**Q** スタートアップが続出する環境づくりを加速させるという方針について。

**A** 経済文化部長 令和4年6月7日に閣議決定された新しい資本主義のブランドデザイン及び実行計画の内容も踏まえ、アジアに近い地理的優位性を生かし、引き続き商店街内に設置したスタートアップラボラトリーを核としたスタートアップ支援に取り組みます。

**Q** デジタル田園都市国家構想の推進とあるが、目的と方針について。

**A** 市長 本市においては、サテライトオフィスの開設及びワーケーションの促進に向けた施設整備に取り組むとともに、母子健康手帳アプリサービスを活用したオンライン相談等を進めたいと考えています。引き続きデジタルを活用し、誰もが便利で快適に暮らせる社会を目指します。

## 保育、子育て環境への支援について

**Q** 認可外保育施設の放課後児童クラブの利用料の助成について。

**A** こどものまち推進部長 認可外保育施設に子供を通わせているひとり親家庭等の生活の安定と自立の促進に寄与することを目的に、認可外保育施設を利用するひとり親家庭等の子供に係る利用料につ

いては、認可保育所の保育料との差額分を補助する内容となっております。また、放課後児童クラブを利用する家庭への支援として、ひとり親家庭放課後児童健全育成事業利用助成金を設け、児童扶養手当受給者、沖縄市母子及び父子家庭等医療費助成受給者、生活保護受給者を対象に月5,000円を上限として利用料を助成し、負担軽減を図っています。

**Q** 小学校の敷地等において、学習、体験活動への取組について

**A** 指導部長 子供たちの安心・安全な居場所づくりを目的に、放課後や週末等に地域の方々の協力による小学校の地域連携室や公民館等を利用した放課後こども教室を開設しています。同教室の開級時間は、各小学校で違いますが、おおむね週2回の午後2時から5時ごろまでとなっております。宿題や自主学習支援のほかに、三味線、フラダンス、農作業等の体験活動を実施しています。子供たちが日頃の学習及び体験活動を通して、放課後を有意義に過ごすことができ、地域の大人と関わることで心を豊かにする社会教育につながるものと考えています。



## その他の主な質問

○商店街活性化について  
○重層的支援体制整備事業の実施について



日本共産党  
池原 秀明 議員

## 若年妊産婦の支援について

**Q** 就学支援で各種学校の実績を伺う。

**A** こどものまち推進部長 令和3年度は全日制の専門学校へ1人、大学の夜間コースへ1人が進学しています。また、若年妊産婦の居場所職員が子供の預け先など、就学を継続できるよう相談支援を行うことで、通信の専門学校に1人、通信高校に14人、定時制高校に1人が進学しており、そのうち2人が通信高校を卒業しています。

**Q** 就労支援等の取組について、就学先別の実績を伺う。

**A** こどものまち推進部長 子供がゼロ歳児で子育て中の利用者や、通学中の利用者以外の方の就労状況は、中学卒業ではコンビニや事務のアルバイトが3人。高校中退ではコンビニやコールセンターなどのアルバイトが3人。通信高校卒業ではアルバイトが1人。全日制の高校や専門学校卒業では不動産業や理容業などで正職員が3人、アルバイトが1人。通信の高校や専門学校通学中ではコールセンターなどでアルバイトが9人となっています。

## (仮称)美里中学校区児童館の整備について

**Q** 用地選定、場所、取得時期を伺う。

**A** こどものまち推進部長 (仮称)美里中学校区児童館の整備については、美里中学校区は範囲が広いことから北美小学校区、美里小学校区のそれぞれに児童館を整備する予定となっております。用地については、北美小学校区では既に地主からの同意を得ています。美里小学校区は今後、地主との交渉を予定しています。

**Q** 児童館整備計画のスケジュールと設備内容を伺う。

**A** こどものまち推進部長 北美小学校区児童館は、今年度は基本設計を実施し、事業認定及び国税協議を行った後、用地を取得したいと考えており、令和5年度に工事を行い、令和6年度中の供用開始を目指しています。設備内容はバスケットボールや卓球ができる遊戯室、図書室や学習室、乳幼児室や相談室などを設置する予定であり、乳幼児から高校生までの子供たちが利用しやすい児童館になるように整備していきたいと考えています。

## その他の主な質問

○重層的支援体制整備事業について  
○待機児童の解消について





おきなわ  
星あふに  
議員 宮城 浩

**地域について**  
沖縄市の均衡ある発展について、東部

**Q** 中城湾のサンライズ湾岸構想への見解を伺う。

**A** 企画部長 沖縄県東海岸サンライズベルト構想は東海岸地域の活性化、発展において重要な交通ネットワークの形成や東海岸地域の魅力を活かした観光の展開などが掲げられており、新21世紀ビジョン基本計画においても広域的な方向性の一つとして位置付けられています。本市においても沖縄県の均衡ある発展の観点から、必要な構想の一つであると認識しています。

**Q** 沖縄市漁業協同組合より要請されている泡瀬漁港の新施設整備事業を含め、「海の駅」構想として一体的な取り組みによる活性化につながると考えるが、見解を伺う。

**A** 経済文化部長 泡瀬漁港の新施設整備事業については、第3次沖縄市水産業振興基本計画において、沖縄市水産業の振興に向けた各種取組を総合的、効果的に進めるための新たな拠点施設として整備を支援することとされています。また、沖縄市漁業協同組合は令和3年に(仮称)泡瀬漁港支援施設基本計画を策定し、本市に対し要請がありました。水産業の振興に向けて、引き続き関係機関などと調

整を行っていきます。

**Q** 高原交差点の改良と県道20号線の早期整備についての認識と見解を伺う。

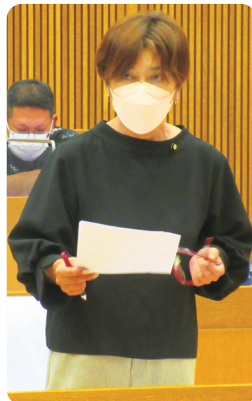
**A** 建設部長 県道20号線は中心市街地と東部地域を結ぶ重要な幹線道路であり、4車線化により渋滞緩和や生活道路への迂回の減少など、交通安全上にも大きく寄与すると考えています。高原交差点は主要渋滞箇所位置付けられ、早期改良が必要であると認識しております。県道20号線の4車線供用及び高原交差点の早期整備を県へ要望していきたいと考えています。

**Q** 図書館整備と東部11自治会にある文化芸能の保存・継承すべく防災拠点となる施設整備を提言するが、認識と見解を伺う。

**A** 経済文化部長 現在、新たな文化施設の整備計画はありませんが、東部地域においては泡瀬京太郎や古謝獅子舞保存会において、文化芸能の保存・継承の取組がなされていると伺っています。(仮称)泡瀬漁港新施設基本計画の新施設整備に文化芸能の保存・継承の機能についても盛り込むことができるか、併せて研究していきます。

**その他の主な質問**

○沖縄市の均衡ある発展について  
(西部・中部・北部地域について)



会 護憲 凛の会  
諸見里 宏美 議員

**て** 重層的支援体制整備事業の実施について

**Q** 事業概要を伺う。

**A** 健康福祉部長 地域住民の複雑・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を整備するため、介護、障がい、子育て、生活困窮などの属性を問わない相談支援、参加支援、地域づくりに向けた支援を一体的に実施するもので、既存の制度では対応できないさまざまなニーズに対応できるように、他機関の協働による支援やアウトリーチによる継続的な支援を実施するものです。実施に向けては、分野ごとに行われていた事業の試行的な取組や事業本格実施に向けた計画策定などを支援する3年間の移行準備事業が創設されており、本市は今年度より本事業を活用した取組を実施していくこととしています。

**Q** 誰もが安心できる「暮らし」を支える沖縄市について

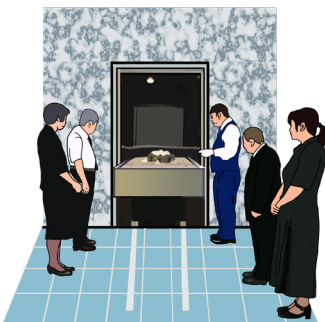
**A** 建設部長 岸田総理は2024年度以降に返還予定のキャンプ瑞慶覧の住宅地区について、返還までの間、緑地公園として整備する方針を示したが、沖縄市の跡地利用計画の策定や公共用地先行取得との整合性は取れているのか。

**A**

建設部長 北中城村と共同で検討が進

**その他の主な質問**

○特別な支援が必要な児童生徒について  
○外国籍の児童生徒について



**Q** 新火葬場計画について、これまでの取組、今後のスケジュールについて伺う。

**A** 市民部長 新火葬場の整備に向けては、平成24年度に基本調査、平成26年度に基本構想を策定し、令和2年度に基本構想の改定を行っています。現在、北部地域3か所まで絞り込み作業を進めており、最終候補地決定の基礎資料となる現況調査を実施し、最終候補地の決定に向け取り組んでいます。最終候補地の決定後、基本計画用地測量地域調査を実施し、基本計画の策定後、令和5年度に基本設計、令和6年度に実施設計、令和7年度に整備工事を実施したいと考えています。



かがやき  
大城 隼 議員

## 雨水事業について

**Q** 浸水被害の軽減に向けた取組と被害のひどい場所を伺う。

**A** 上下水道部長 登川・松本・宮里・泡瀬・比屋根・久保田地区などで多くの浸水・冠水被害の報告を受けています。また、県道22号線の高原地区についても、浸水及び冠水の被害を確認しています。

**A** 建設部参事 市道の主な冠水箇所は、宮里・越来・比屋根・松本・上地地区などがあり、県道については、泡瀬・美里・高原地区の道路冠水を把握しています。

**A** 消防長 消防本部での水害の初動対応は、大雨洪水注意報及び警報が発令された際は地域住民からの119番の緊急通報を待たずに、松本・久保田・泡瀬・比屋根地区など、重点的に警戒出動を実施し、状況確認をしています。

**Q** 高原地区の冠水で消防も出動しているが、冠水被害のあった店舗の状況を伺う。

**A** 消防長 当該場所は高原、比屋根から走る県道22号線で、令和4年5月31日と令和4年6月3日に大雨洪水警報に伴う警戒出動を行っています。冠水箇所は、県道上下線と市道部分の三方向から低地部分に雨量が流れ込み、排水が間に合わずに冠水したものと思われま。現場に到着した際の状況は、約30メートルの範囲で高さ約50センチ、大人の膝の高さく

らの道路冠水と道路沿いの店舗、工場及び事務所への床上浸水約5センチを確認しています。消防の基本的な活動は、国道、県道、市道などで道路冠水を確認した場合には、道路脇のグレーチングにたまった枯れ葉などの除去を行い、道路冠水の改善を確認するようにしています。今回の箇所でも同様な活動を行い、道路管理者の沖縄県中部土木事務所の職員に現場を引き継ぎ、活動を終了しています。

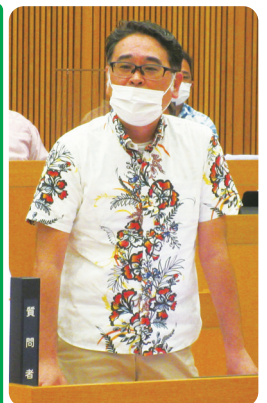
**Q** 浸水対策を伺う。

**A** 上下水道部長 対策としては、市道部分へと流れている民地内排水路からの雨水については、民有地の土地利用計画と合わせて排水路を整備する必要がありますと考えており、市道への雨水流出の抑制に向け、調整をしていきます。県道部分は、吐出口やグレーチング等の整備はされていますが、集中豪雨などの場合には道路排水から雨水幹線への排水が処理しきれず、冠水が発生していると考えており、今後、関係部署及び沖縄県と調整を行い、冠水被害の軽減に向け取り組んでいきます。



## その他の主な質問

○給付型奨学金について  
○仲本兼明副市長のこれまでの功績について



自民党 瑞慶山 良一郎 議員

## 沖縄アリーナについて

**Q** 沖縄アリーナの今後の展開及び課題について伺う。

**A** 企画部長 沖縄アリーナについては、令和4年度以降も感染対策などを行いなから、可能な限りスポーツ興行をはじめ、コンサートやMICEなどを開催できればと考えています。また、地域活性化の起爆剤という重要な役割もありますので、まちなかへと誘導するために関係部署や地域の皆様と連携した取組が必要と考えています。全国から注目を集める施設がこの沖縄市にありますので、市民の皆様が誇りを持っていただけるよう、市民の皆様にも見ていただけるような取組も考えていきます。

**Q** FIBAバスケットボールワールドカップの進捗状況、県との連携を伺う。

**A** 企画部長 いよいよ来年8月に開催されることから、1年前に合わせて予選ラウンドの誘致に取り組んでいます。また、日本バスケットボール協会と毎週会議を開催し、FIBAの現状や本大会に向けた意見交換を行っています。FIBAの大会事務局についても、5月に沖縄アリーナをはじめコザ運動公園などの視察も行われ、本大会に向けた準備が進められています。

## その他の主な質問

○東部海浜開発事業について  
○ピースフルラブ・ロックフェスティバルの今後の展開について



上げを準備している伺っており、ボランティア、プロモーション、警備、輸送、医療など、全体的な部分も含めていくことになるものと考えています。

## 日本ユニークな子どもの国について

**Q** 今後の展開を伺う。

**A** 企画部長 令和4年度は、来園者に人気の高いふれあい動物園エリアの整備と併せて噴水遊びができるエリアの整備、東ゲート周辺エリアの整備に取り組むとともに、ナイトZOOの開園に向けたライトアップ整備を行っていく予定となっています。

**Q** ナイトZOOに向けた取組について伺う。

**A** 企画部長 園内全域を対象としたライトアップ整備を予定しており、照明の持つ光と色を効果的に融合し、来園者が歩く園路を安全に、また、動物展示を印象的に演出するとともに、水や緑など沖縄こども国にある資源を最大限に活用したライトアップの演出により、沖縄こども国の新たな価値を創出していきたくと考えています。



一志会  
新里 治利 議員

## 東部海浜開発について

**Q** 事業の認知度及び企業誘致の機運醸成は極めて重要である。まだまだ盛り上がりには欠けると思うが、当局の説明及び桑江市長の率直な見解を伺う。

**A** 建設部参事 これまで様々な事業PRに取り組んだこと、また、多くの方にご支援いただいたことで、コロナ禍にあっても県内外の多種多様な方々からの現地視察等が増えており、潮乃森への投資意欲も増してきたと感じています。令和5年度に予定している人工ビーチの部分使用も始まりますので、さらなる機運醸成につなげていきたいと考えています。

**A** 市長 潮乃森はスポーツコンベンション拠点の形成と県内最大級のロングビーチから眺めるロケーションを生かしながら、カーボンニュートラルの考えに沿った大型ホテルの誘致、スーパーヨットが寄港するマリーナなど、世界を視野に入れたリゾート地を目指しています。それには市民、県民の盛り上がりは必要だと思えます。さらなるPRにより市民、県民の期待度を上げていかなければならないと考えていますので、引き続き国、県、推進協議会、議員連盟の皆様と力を合わせながら、早期整備に向けて取り組んでいきます。

## 総合的な交通体系のビルドアップに伴うまちづくりについて

**Q** うるま市には「高規格道路整備延伸」の計画があるというが、我が市はどのように対応するか。

**A** 建設部長 当該道路は本市の北部地域と勝連半島方面をつなぐ東西連絡道路として、広域的な交通体系を担う路線となり、沖縄自動車道との連携がスムーズになることで、当該道路区間周辺地域の発展にも寄与する可能性があると考えています。うるま市と連携を図り、本市の振興につなげられるよう検討していきます。

**Q** 嘉手納飛行場の共同使用は可能か。桑江市長のビジョンと見解を伺う。

**A** 市長 現在の世界情勢ではその可能性は極めて低いということは承知していますが、実現した場合には、空の玄関、海の玄関を有する中部地域になります。流通経済に寄与する計り知れない可能性を秘めています。私は機会あるごとに政府に要望し、中部地域の振興、沖縄県全体の振興につながるということを強く主張しながら、その可能性を求めていきたいと考えています。

## その他の主な質問

**Q** なぜ「沖縄市」には貧困の連鎖が起きているのか  
**A** キャンプ瑞慶覧ロウワー・プラザ返還跡地利用について



会派躍進  
喜友名 朝彦 議員

## カーボンニュートラル実現について

**Q** 東部海浜開発地区（潮乃森）におけるカーボンニュートラル実現に向けた取組について伺う。

**A** 建設部参事 本市は昨年7月に沖縄市ゼロカーボンシティ宣言及び県内企業との包括連携協定の締結を行い、潮乃森においては脱炭素エリアを目指すこととされています。潮乃森で排出が予想される温室効果ガスの抑制、削減に向け、再生エネルギーや電気自動車などの活用も視野に調査、研究を進めています。今後は、脱炭素化の考え方や手法を整理し、進出する事業者や潮乃森へ訪れる利用者の皆様にも御協力を求めていくなど、官民連携して取り組みたいと考えています。

**Q** 「陸の上のサンゴ畑」の整備は庁内組織の横断的な連携が必要だと考える。施策等をコントロールする企画部において何らかの検討委員会を立ち上げて取り組んでいくことは可能か。

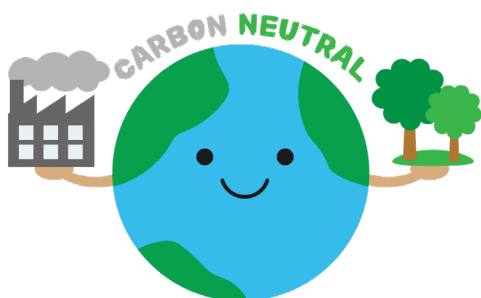
**A** 企画部長 陸の上のサンゴ畑については、これまで教育、環境、観光、経済の面など様々な観点から御提案をいただいていると承知しており、庁内における環境、観光、水産など多くの部署が関わりと考えられ、国や県などの関係機関の御協力や御理解も重要だと認識していますので、検討委員会の在り方も含め、関係

## 火葬場の整備について

**Q** 桑江市長の意気込みを伺う。

**A** 市長 火葬場は地域社会にとって欠くことのできない施設です。市民の期待に応えるべく、3期目の施策の1つとして、新火葬場の整備を掲げ、必ずや成し遂げると強い思いで取り組む所存です。このまちで生まれ育った人々がこれからもこの地で大切な人をしのび、心穏やかに見送ることができるよう、市民の望む新たな火葬場の早期整備に向け、スピード感を持って全力で取り組みますが、議員の皆さまの御協力も必要となります。どうぞよろしくお願いいたします。

部署と連携を図っていききたいと考えています。



## その他の主な質問

**Q** 「こども」が夢と希望をもてる沖縄市について



会派群星  
桑江 直哉 議員

## 有機フッ素化合物(PFAS)について

**Q** 京都大学と有機フッ素化合物(PFAS)汚染から市民の生命を守る連絡会が、血液検査を行い血中のPFAS濃度調査が行われようとしている。市長は市民の生命および財産、基本的な人権を守る観点から、市民へのPFAS汚染についてどのように考えているのか。

**A** 上下水道部長 有機フッ素化合物については全世界各地で環境汚染が問題化しており、普天間飛行場や嘉手納基地などの米軍基地周辺河川水から検出され、嘉手納基地井戸群の地下水や、中部河川水を取水源の一部としている北谷浄水場から受水している各市町村をはじめとする市民、県民の皆様が大きな不安を抱いていることは承知しているところです。

先日の新聞報道にもあるように米環境保護庁EPAは、有機フッ素化合物の一種であるPFOS並びにPFOAについて、生涯健康勧告値をこれまでの合算値1リットル当たり70ナノグラム以下から、PFOS0.02ナノグラム以下、PFOA0.04ナノグラム以下と大幅に引き下げています。大幅な勧告値の見直しは、人体への悪影響が懸念される有機フッ素化合物の水道水への混入は認めないという大きな決意の現れだと捉えており、一部地域の問題ではなく、世界的な

環境問題であることを提示したものだと考えています。今後、国や県においてもいろいろな動きが出てくるのが予想されます。本市としても、市民の皆様に安全安心な水をお届けするため、国や県の動向に注視しつつ、情報収集に努めたいと考えています。

## 学習支援員について

**Q** 小学校において学びに遅れのある子供たちが、授業について行けない現状があると聞く。そのような課題解決に学習支援員を活用することは可能なのか。

**A** 指導部長 学習支援員は学びに遅れのある子供たちへの支援を目的に配置しており、授業中に問題解決で困っている子供への支援と、授業外の休み時間や放課後などの補習時間にも個別で支援を行っています。また、個に応じた支援としてタブレットドリルも活用し、児童生徒の実態に合わせた学習支援を行っています。



## その他の主な質問

- コザ十字路周辺の開発について
- フレイル予防事業について

# 一般質問

令和4年第421回定例会における一般質問は、5日間にわたり18人の議員から市政全般にわたる諸問題について、多くの質問が行われましたが、紙面の都合により一人1項目を要約して掲載しております。

市政を問う



## ひとり親家庭の児童扶養手当の受給について



藤山 勇一 議員

**Q** 受給資格の要件について。こどものまち推進部長 受給要件は児童扶養手当法で定められており、父または母が婚姻を解消した、死亡や障がいのある状態にある、生死が明らかではない、一年以上看護義務を放棄している児童が要件に該当し、児童を看護する父または母、もしくは養育者が手当を受給できます。

**Q** 現行の見直しについて。こどものまち推進部長 令和4年3月18日付で、厚生労働省より通知があり、父または母が児童の看護義務を放棄している場合の認定基準が見直されています。離婚調停や審判の係争中で婚姻関係が継続していても、父または母による現実の扶養が期待できないと判断され、児童の看護義務を全く放棄している状態が一年以上継続する場合は、児童を看護している父や母、または養育している方は手当が受給できる可能性があることになりました。

**Q** 未受給者などの支援について伺う。こどものまち推進部長 本人や同居の扶養義務者が所得制限を超える所得がある場合、ひとり親でも対象外となる場合があります。対象外の世帯への支援としては、令和2年度より新型コロナウイルス感染症の影響により家計が急変した世帯に対し給付金を給付しています。ひとり親家庭への新たな市独自の手当は、継続的な財源確保等の課題もあり、大変ハードルが高いものと認識しています。今後は経済的な支援だけではなく、就労や資格取得など社会的自立に向けた支援を充実させていきたいと考えています。

## その他の主な質問

- 介護人材育成について
- 自動運転技術、電動自転車や電動キックボードの検証について

## その他の主な質問

### 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(原油価格・物価高騰対応分)の財源を活用した支援について



屋富祖 功 議員

**Q** 本市への交付額を伺う。

**A** 企画部長 令和4年4月28日に国より通知された新型コロナウイルス感染症対応策地方創生臨時交付金の交付限度額5億4,062万円のうち、コロナ禍における原油価格・物価高騰対応分として4億546万5,000円が示されています。

**Q** 支援策を伺う。

**A** 企画部長 本市の新型コロナウイルス感染症に関する緊急経済対策第9弾のうち、コロナ禍において原油価格・物価高騰等の影響を受けた市民及び市内事業者への支援として、子育て世帯の負担軽減に係る給付金の支給や、プレミアム付商品券の追加発行、公共交通機関の運行継続に係る支援金の給付など、本市の実情に応じて国や県のサポートが十分に行き届かない対策に取り組んでいます。

**Q** 子育て世帯の負担軽減を図る給付金、公共交通運行継続に係る支援金の内容を伺う。

**A** 企画部長 子育て世帯給付金は、コロナ禍において原油価格、物価高騰等の影響を受けた子育て世帯に給付金を支給するもので、子供一人当たり1万5,000円を給付する予定です。

公共交通機関の運行継続支援は、事業継続を図るために路線バス及びタクシー事業者に支援金を給付するものです。

- 市道美里線の状況について
- (仮称)美里中学校区児童館の整備について

## その他の主な質問

### 私道における整備補助策について



眞榮城 健二 議員

**Q** 私道に対する補助制度は県内ではどのような状況か。

**A** 建設部参事 県内10市に聞き取りを行ったところ、那覇市と宮古島市が私道整備補助金交付要綱を定め、要件を満たした私道の舗装工事や側溝工事、擁壁工事を行う者に補助金を交付していると伺っています。

**Q** 市の同制度はあるのか。

**A** 建設部参事 本市には私道への補助制度はありません。私道は管理者である土地所有者が整備・維持管理を行うことが適切だと考えています。補助制度はありませんが、緊急性や安全制を考慮し、対応が必要な箇所については地域からの要請等を踏まえ、土地所有者の承諾の下、応急的な補修等を行っています。

**Q** 財政は課題と考えるが、防衛9条は活用できないか。

**A** 建設部参事 私道への補助はこれまでも調査・研究を行っています。特定防衛施設周辺整備調整交付金の活用については、沖縄防衛局と調整していきたいと考えています。

**Q** 今後、同制度について検討できないか。

**A** 建設部参事 私道の補修については、地域、そして多くの議員の皆様から御相談、御要望を承ってきました。他市町村で導入している当該制度は、市民の負担の軽減を図り、地域の方々に自主的な私道の適正管理を促し、生活環境の改善に寄与する効果があると考えています。今後、財政確保について関係部局と調整をしながら、補助制度の導入について引き続き検討していきたいと考えています。

- 部活動指導員について
- 国道330号沿線における落書きについて

## その他の主な質問

### 職員派遣の目的・成果並びに業務内容について



伊禮 悟 議員

**Q** 職員派遣の成果について伺う。

**A** 総務部長 これまで派遣した職員については、派遣終了後に市の主要部署に配属し、培った知識や経験、得た人脈を生かし、市の施策を実施する上でリーダーシップを持って業務を担っていただいています。

**Q** 中城湾港・新港地区の活性化に向けて、うるま市は「沖縄総合事務局 港湾計画課」へ職員を派遣した経緯があると聞いています。本市では令和4年度から「沖縄総合事務局 港湾計画課」へ派遣したと聞いたが、どのような業務を担っているのか。

**A** 総務部長 職員派遣については、職員派遣要綱に基づき市の施策活性化に寄与することを目的に本市の施策での必要性や方向性など、これまで庁内関係部署との協議や、相手方の沖縄総合事務局港湾計画課とも意見交換を行いながら職員派遣についての検討を行い、令和4年度より沖縄総合事務局港湾計画課那覇港湾・空港整備事務所 中城湾港出張所へ職員1人を派遣しています。令和4年度の当該職員派遣については、中城湾港の整備について、工事現場調査及び港湾振興業務、クルーズ船振興などとともに泡瀬地区潮乃森埋立地に関する計画調査が主な業務内容となっています。

- 貸与型奨学金について、令和4年度より専門学校が対象になった背景について
- 給付型奨学金のさらなる充実に向けて、授業料まで拡充できないか



## eスポーツについて



稲嶺 隆之 議員

**Q** eスポーツに関する調査をしていると思うが、どのように行っているか。

**A** 経済文化部長 今年の1月29・30日にロワジールホテル那覇で「eスポーツバトルin沖縄2022」が開催され、約200人が3種目に参加されていたとのことです。ロワジールホテル沖縄はeスポーツの大会開催も考慮し、超高速で安定したインターネット専用回線を導入していると伺っています。本市も令和3年度に策定しました第2次沖縄市観光振興基本計画において、eスポーツに関するイベントの誘致等に向けた取組について、地域と連携して推進することとしていますので、関係者と連携を図りつつ取り組んでいきたいと考えています。

**Q** 沖縄アリーナも含め、本市の回線速度について伺う。

**A** 経済文化部長 eスポーツの大会においての回線速度につきましては、eスポーツ関係者に確認したところ、応答速度を表すピング値という値が重要であり、数値が低ければ低いほど通信環境がよいとのことでした。ピング値はネット回線の周囲や使用する場所、状況等で、またオンラインでの大会側と参加者側のネット回線の状況により左右されるとのことです。eスポーツの環境整備については、今後、eスポーツ関係者等の意見を踏まえ調査研究をしていきます。

### その他の主な質問

○市税納付について  
○沖縄全島エイサーまつりについて

## 大里地域の農道の維持管理について



金城 由美 議員

**Q** 2丁目付近の維持管理はどのように行っているか。

**A** 経済文化部長 大里2丁目地内、城北マンション近くにあります農道桃原11号

線の集水ますから水があふれていることについては、昨年7月から当該集水ます近くの高台で宅地造成が行われており、工事現場の土砂や碎石が集水ますへ流入しているのを確認いたしましたので、今年2月に工事業者に対して集水ますの清掃を求めています。今年5月にも当該集水ます内の土砂堆積の除去作業を行ったところですが、放流先の管路の詰まりが原因と思われる滞水が発生しており、現在も集水ますから水があふれ出ている状況となっております。

**Q** 今後の雨水処理等の方法について伺う。

**A** 経済文化部長 現在、集水ますの滞水解消に向けて現地調査を行っており、滞水の原因が判明した場合には、速やかに対応を行います。また、集水ます近くの高台で住宅建設を行っている工事業者に対しては、工事現場から当該集水ますに土砂が流れ出ないように対策を求めています。

**Q** 今後の維持管理方法について伺う。

**A** 経済文化部長 維持管理については、定期的に巡回を行い、大雨が予想される場合には、過去に冠水を確認した箇所を重点的に見回り、道路側溝内で土砂堆積が確認された場合には速やかに清掃を実施し、地元自治会等と連携を図りながら、適切な農道管理に努めていきます。

### その他の主な質問

○ひとり親家庭の支援について  
○東部海浜開発地区「潮乃森」について

## 誰もが安心できる「暮らし」を支える沖縄市について



高橋 真 議員

**Q** 地域の防災力と安全力を高めるため、防災・減災対策の推進について市長の取組方針を伺う。

**A** 市長 防災・減災の推進は市民の生命・財産を守る立場から大変重要であり、自助・共助の強化も必要だと考えていますので、自主防災組織の結成促進・防災訓練への支援を行います。行政と地域が連携して災害対応に当たれるよう各種訓練を実施するなど、自助・共助の輪を広げて地域防災力を高め、誰もが安心できる「暮らし」を支える沖縄市の実現に向けて取り組んでいきます。

**Q** ドローン活用について、防災減災対策推進のための必要性の見解、取組実績、課題を伺う。また、オペレーターの育成方針並びに活用計画策定について伺う。

**A** 消防長 各種災害、平時の火災、捜索、救助に対してドローンの俯瞰的視点からの情報収集は非常に有効と考えています。大規模災害発生時には現場映像をドローンから対策本部へ送信することで災害対策に有効活用ができ、上空からの監視による要救助者の捜索、安全確認等を迅速に行い、被害者や救済者の安全を守ることに効果的です。令和2年度に1機を導入、オペレーター2人を育成し、令和3年4月に消防署に配備、運用を開始しています。令和3年11月に市の防災訓練、情報収集訓練、令和4年5月に大雨で崩れた現場状況確認を行っています。課題はオペレーター育成や、夜間や目視外飛行のための操縦技術の向上、また、全天候型ドローンの導入、赤外線カメラ、スピーカー等を装備した機能性の高い機体の導入が必要だと考えています。

ドローンを運用する隊員として当面は操縦員3人、安全員3人を育成し、機体の整備については専門的な意見等も踏まえ、更新計画を策定していきたいと考えています。

**Q** 今後の方針について伺う。

**A** 消防長 ドローン運用は消防本部内だけで考えていましたが、関係部局や消防団等での活動も検討を進め、今後も情報収集や民間事業者との連携を進め、ドローンの防災面での活用について幅広く検討していきます。

### その他の主な質問

○療育が必要と思われる園児を受け入れている保育園などの支援内容について  
○高齢者、障がい者の福祉について

## 市立図書館の分館について



島田 茂 議員

**Q** 東部地域は11自治会の人口が約5万人で、沖縄市の人口の約3分の1を占めている。地域の方々から老若男女問わず身近で気軽に行ける場所に図書館が欲しいとの要望がある。東部地域にはぜひ図書館分館が必要だと思いませんか？

**A** 教育部長 沖縄市立図書館は周辺地域への波及効果などを踏まえてBCコサにてサービスを開始し、5周年を迎えています。まだまだ蔵書数が目標に達していないことから、当面は市立図書館の充実に注力したいと考えています。東部地域については移動図書館ちえそう君のステーションを9か所配置しており、今後も引き続き老若男女の皆様が広く御利用いただけるよう努めます。

**Q** 東部地域に防災拠点を整備する際に、東部地域から要望のある図書館機能が継承できる施設を追加すべきと考えているが、見解を伺う。

**A** 総務部長 東部地域の防災拠点については、平成29年7月に国土交通省より示された津波避難ビルの基準見直しを踏まえ、防災拠点施設の整備について検討を行う必要があると考えており、調査研究を行っています。

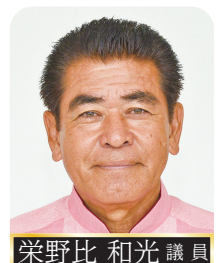
**Q** 東部地域の文化・芸能を継承できる施設整備の考えについて。

**A** 経済文化部長 現在、新たな文化施設の整備計画はありませんが、東部地域においては、無形文化財として国の指定を受けた泡瀬京太郎や、古謝獅子舞保存会において文化芸能の保存・継承の取組がなされていると伺っています。文化・芸能を継承できる施設の整備については、市漁協において策定された(仮称)泡瀬漁港新施設基本計画の新施設整備に関する調査研究を進める中で、文化・芸能の保存・継承の機能についても盛り込むことができるか、研究していきます。

### その他の主な質問

○県道20号線の冠水について  
○沖縄市の最年少防災士及び最年少防災リーダーについて

## 地域包括支援センター事業運営について



栄野比 和光 議員

**Q** 介護給付等対象サービスを提供するための施設の整備状況を伺う。

**A** 健康福祉部長 地域包括支援センター(以下、センター)の事業運営については、令和3年度からの事業委託に当たり、課題であった人員不足による業務負担の軽減を図るために配置人員を増員し、それに応じた委託料の見直しを行いました。令和3年度の状況として、以前より相談支援などの業務に専念できているというセンターがある一方で、一部のセンターでは人員が確保できていないという課題もありますので、安定した人材確保や運営ができるよう、センター職員や委託法人へヒアリング等を行い、改善に向けて取り組んでいます。

**Q** 専門職等の職員配置は、各地域の高齢者人口比で適切に行われているか。

**A** 健康福祉部長 一つのセンターへ配置する職種と配置人数は、介護保険法施行規則に基準が定められており、保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員を各1人とされています。それに加え市の基準において認知症地域支援推進員・介護予防等把握業務員・生活支援コーディネーターを各1人ずつ配置しており、令和4年4月末現在、7か所全てにおいて基準を満たした配置ができていますが、職員の定着が課題になっている状況も見受けられます。課題解決のための取組として、人員定着に関する好事例の取組の共有や、職員の資質向上のためのフォローアップ、年度途中に欠員になった際の後方支援等に努めていきます。

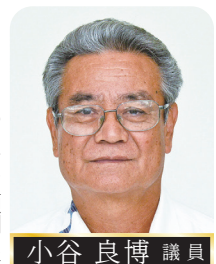
**Q** 市の運営規定の改善、改正など具体的な対策を伺う。

**A** 健康福祉部長 センター事業運営においては、沖縄市の運営方針にて基本方針等を示し、市とセンター共通理解の下、取組を推進し、3年ごとの介護保険事業計画策定に合わせて、運営方針を見直しています。また、日々の業務で課題が生じた場合、各職種の毎月の定例会や2か月ごとのセンター長会において状況を把握し、業務改善に向けて取り組んでいます。

### その他の主な質問

○防衛省交付金について  
○市教育委員会、指導行政について

## 道路整備について



小谷 良博 議員

**Q** 登川4号線及び登川38号線の今後の計画について伺う。

**A** 建設部長 市道登川4号線は、令和4年度は用地測量業務と並行し、土地評価と物件移転補償算定業務を実施し、補償交渉を進めます。順調に補償交渉が進めば令和5年度以降には用地物件補償を行い、早ければ令和6年度に工事着手、令和6年度末の工事完了を見込んでいます。

**Q** 登川クランク交差点について、沖縄県との協議は行われているか。

**A** 建設部長 当該交差点は、県道26号線を農研センター側へ振ることで十字交差へ改良し、合わせて国道329号に右折車線を設置することで渋滞緩和を図るものです。先月6月上旬に国・県・市の3者で十字路化を進めていくことを確認しました。国道329号は今年度、国において詳細設計を行い、用地買収を進める予定、県道26号線は県において事業化に向けた予備設計に取り組み、次年度以降詳細設計や用地買収等を行う予定とそれぞれ伺っています。本市も国や県と連携しながら地域との合意形成など早期の事業完了を目指します。

**Q** 沖縄県より県道36号線バイパスの渋滞解消について具体的な計画の提示があったか。

**A** 建設部長 国道329号・県道36号線が交差する沖縄北インターチェンジ(以下、IC)交差点については、現在、国・県・ネクスコ西日本による渋滞緩和に向けた工事に着手しており、ICの出入り口においては流入部の二車線化及び流出部への左折車線の設置工事を、国道329号はICへの右折車線の二車線化及び左折車線等の設置工事を進めています。県道36号線はIC流入部の二車線化の工事進捗に合わせ、車線区画数を現在の直進一車線から二車線化にすることで交通処理能力を上げ、渋滞緩和を図る計画と県から伺っています。

### その他の主な質問

○県道36号線バイパス吉本工業前交差点の信号機について

## 高すぎる国保料の引き下げについて



前宮 美津子 議員

**Q** なぜ都道府県単位化で沖縄市の国保は黒字に転じたか。

**A** 健康福祉部長 平成30年度の制度改正により、国民健康保険事業は資金の流れが大きく変わりました。保険給付に係る費用が年度内に普通交付金として県より交付されることになっており、一方、市は事業費納付金を県へ納付することとなりますが、納付金の確保に必要な保険料総額が毎年、県より示されています。保険料率の算定基礎となる額が明確に示されることで、事業を安定的に運営できる保険料率が設定しやすくなり、毎年度の会計処理において歳入欠陥のリスクが軽減されたことが黒字の主な要因と考えています。また、国民健康保険課職員がこの数年にわたり収納対策について改善に取り組んだ成果が出たものと思っています。

**Q** 県内他市と比較し、県への納付金の1人当たりの金額・順位・平均額、加入者の平均所得、1人当たりの国民健康保険料額を伺う。

**A** 健康福祉部長 データが正式に公表されている令和元年度の実績でお答えします。まず、県への事業費納付金1人当たりの額は11市平均額が約12万円、本市が約11万2,000円、11市中上から8番目です。被保険者の平均所得は11市平均額が1世帯当たり約91万8,000円、本市が約106万4,000円、11市中上から3番目です。1人当たりの保険料調定額は11市平均で約7万2,000円、本市が約7万3,000円、11市中上から7番目です。

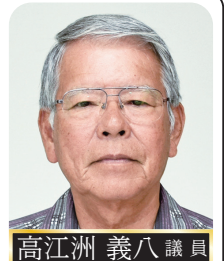
**Q** 子供の均等割廃止について伺う。

**A** 健康福祉部長 市独自の軽減については、賦課限度額を超えない所得がある世帯や子供のいない世帯の保険料負担増につながり、受益と負担の不均衡が生じるおそれがあること。また、厚生労働省より、市町村独自で特定の対象者に画一的な基準を設けての減免は好ましくないということもあり、慎重に検討する必要があるとあります。令和4年度より実施される未就学児の均等割保険料にかかる軽減については、地方の声を国に届いたものと評価しています。今後引き続き同制度の拡充について国へ要請していきます。

### その他の主な質問

○自治体のデジタル化と住民サービスへの影響について  
○土砂災害警戒区域等における日常からの減災への備えについて

## 子ども食堂について



高江洲 義八 議員

**Q** 自治会における子ども食堂の現状と市の取組について伺う。

**A** 子どものまち推進部長 自治会における子ども食堂については、平成30年度に山内・園田・宮里の3自治会で市との連携により開始しています。現状としては、貧困世帯の子供のみではなく、地域の多くの子供たちが利用できるよう工夫していただけており、利用状況は平成30年度に3自治会で年間延べ6,006人でしたが、令和3年度は6自治会で年間延べ2,837人の子供たちが利用しています。本市では子供たちに食事支援をする自治会への補助金を交付するとともに、こどもの居場所づくり支援員による支援を行っています。

**Q** 様々な課題を受けて受け皿となる窓口、またそれをコーディネートすることについて伺う。

**A** 子どものまち推進部長 子ども食堂を自治会で実施していく場合の課題については、こどもの居場所づくり支援員を中心に周知や運営に関すること、利用する困り感のある子供たちに関することなど、関係機関へのつなぎや具体的な支援を行っています。さらにサポートが必要な場合は、沖縄県に配置されているこどもの貧困対策事業における専門性の高い支援コーディネーターによる情報共有やアドバイスをいただきながら支援しています。

**Q** 自治会における子ども食堂を支援する制度について伺う。

**A** 子どものまち推進部長 当該制度については、国の沖縄子供の貧困緊急対策補助金の子ども居場所の運営支援事業があります。本市も本補助金を活用し、食事支援に必要な食料費や消耗品等の経費について補助しており、令和4年度は新たに3か所開所できるよう自治会と協力しながら、子ども支援の体制づくりを進めています。今後はニーズ把握や課題について自治会とも協議しながら令和7年度には全小学校区に少なくとも1か所以上、子ども食堂が開所できるよう進めていきます。

### その他の主な質問

○大里美浦線の排水路の蓋について  
○道路の整備（市道泡瀬2の3号線・市道古謝公民館線）について

## 男女共同参画について



喜友名 秀樹 議員

**Q** パートナーシップ・ファミリーシップ制度とはどのようなものか伺う。

**A** 市民部長 パートナーシップ制度は、戸籍上の性別が同じであるカップルを婚姻に相当する関係と認めて証明書を発行する制度で、法律上の効果が生じるものではありませんが、生命保険の受け取りにパートナーを指定することができることや、民間の家族割りなどが該当し、サービスを受けることができます。また、すでに制度導入の自治体では、公営住宅への入居に家族として入居可能としている事例もあります。ファミリーシップ制度とは、パートナーシップ宣言や登録を行った上で、同性カップルのいずれかと同居する未成年の子供がいる際に、子供も家族として自治体が認める制度です。自治体によっては親もファミリーとして登録できる事例があります。全国的にも自治体での制度導入が進んでいる。県内の自治体の取組状況について伺う。

**Q** 市民部長 県内では那覇市が2016年7月にパートナーシップ登録を開始しています。また、浦添市が2021年10月にパートナーシップ制度導入を盛り込んだ、浦添市性の多様性を尊重する社会を実現するための条例が施行されています。さらに、沖縄県においては2021年3月に、沖縄県性の多様性尊重宣言(美ら島にじいろ宣言)を行っています。

**Q** パートナーシップ・ファミリーシップ制度導入の「可否」について、何をもちて判断するのか。また、判断時期やその根拠については、市民の意識調査などで示すべき時期に来ているのではないかと考えるが、当局の見解を伺う。

**A** 市民部長 今年度は第3次沖縄市男女共同参画計画の策定年度となっています。策定に当たってはLGBTIQを含め、男女共同参画に関する意識調査を行い、課題や関係団体等の意見を踏まえた上で、パートナーシップ制度及びファミリーシップ制度の導入について、検討していきます。

### その他の主な質問

○キャンパ瑞慶覧ロウワー・プラザ住宅地区ライカム交差点周辺の共同使用の概要について  
○自治公民館改修(補修)工事等補助金の上限額引き上げに向けての当局の見解について

## 子育て家庭支援について



高元 直萌 議員

**Q** 困窮家庭を支援する関係機関の負担状況、持続可能な支援体制とするための今後の検討について。

**A** 困窮家庭に対する支援として地域や企業、民間団体の御協力は大変重要です。特に制度のはざままで支援の行き届かない家庭への支援に御協力いただいている民間団体等の思いと行動力に、大変感謝しています。子育て家庭に関する相談内容は多岐にわたることから、地域や企業、民間団体の御協力を仰ぎながら、それぞれの役割において支援の在り方を共有し、整理をしていく必要があるものと考えています。

**Q** 子育て家庭支援への思いを伺う。

**A** 與那嶺副市長 本市は子育て支援として様々な事業に取り組んできました。平成15年度に県内で最初に開設した沖縄市ファミリーサポートセンターは、その長きにわたる取組により、子育ての相互援助活動として市民に欠かすことのできない子育て支援サービスとして定着しています。また、本市からスタートした病児保育事業をはじめ、こどもの居場所の設置で困り感のある家庭の子供たちの支えとなっております。さらに、国の支援を受け若年妊産婦の居場所の開設など、子育て支援の幅を広げるとともに子ども家庭総合支援拠点の整備に取り組んできました。しかし、コロナ禍の影響による社会状況の変化に伴い、子育て支援の対応が困難なケースも多々あります。現場の声を聞き、親子に寄り添った相談や対応ができるように、子育て機関などと連携を密にしながら取り組まなければならないと感じています。全ての子供たちが笑顔であふれ、夢と希望を抱くチャイルドフアースト沖縄市であることを願っています。未来をつくる大切な宝である子供たちを、社会全体で育むことができる環境づくりが大変重要です。私たち一人一人が一翼を担う決意で今後も頑張っていきたいと思っております。

### その他の主な質問

○市街地落書き、商店街内の危険な車両の乗り入れ等、地域課題の解決に向けた全庁的な連携体制について  
○既存・新規の国・県・市の民間支援メニュー制度の紹介、申請の補助等のサポート充実について

## キャンプ瑞慶覧ロウワー・プラザ住宅地区の返還後の円滑な跡地利用について



阿多利 修 議員

**Q** 返還の時期について伺う。

**A** 企画部長 返還時期については、統合計画において、統合計画において返還条件が満たされ、返還のための必要な手続の完了後、2024年度、またはその後には返還可能とされています。現在、日米間で返還条件の達成のための作業を進めている段階と伺っており、現時点で具体的な返還時期をお答えすることは困難とのことです。今後、沖縄防衛局より適宜情報を受けながら、市議会をはじめ地権者並びに市民の皆様へ報告できればと考えています。

**Q** 返還までの国による公園整備の内容を伺う。

**A** 企画部長 当該地区は既存住宅を解体し、返還までの期間を緑地公園として活用できるよう整備すると伺っており、造成や掘削等は行わず、既存の形状を生かした状態であすまや、トイレ、ベンチ、駐車場、管理事務所等を設置することです。既存の道路やフェンス、ソフトボール場などを活用し、追加的な整備は必要最低限とするよう検討することです。令和5年度中の利用開始に向け、準備を進めていくと伺っています。

**Q** 返還予定地に隣接する高速バス南行きバス停の利便性向上について伺う。

**A** 建設部長 当該バス停が隣接する、跡地整備された返還地から行き来することができればバス利用者の利便性も高まり、公共交通の利用促進にもつながると考えられることから、今後の跡地利用計画の策定を進める中で検討したいと考えています。また、共同使用により整備される緑地公園と当該バス停とをつなぐ通路整備等の可能性については、沖縄防衛局へ確認していきます。

### その他の主な質問

○沖縄こどもの国の拡張区域用地取得に向けた取組について  
○嘉手納飛行場の共同利活用について

## 安心・安全のまちづくりについて



伊佐 強 議員

**Q** 令和元年から令和3年の救急車両出勤回数・平均現場到着時間を伺う。

**A** 消防長 令和元年8,160件、令和2年7,295件、令和3年7,340件で、平均値で7分24秒となっております。

**Q** 現場到着の最長時間とその理由を伺う。

**A** 消防長 出動した現場が狭い道路や行き止まりなどで、救急車両が傷病者の家の近くまで進入が困難な事案で、救急隊が傷病者と接触するまでに要した最長の時間は、救助が必要な事案を除き約2分となっております。

**Q** 「まちづくり」における救急車両進入への見解を伺う。

**A** 建設部長 狭い道路が多く、老朽化した建物が密集する既存市街地では、火災が発生した場合、延焼の危険性が高いことから、建物の不燃化と適切な道路幅員の確保による緊急車両の進入などに対応した住環境の改善により、防災機能の向上を図る必要があると考えています。

**Q** 市内の狭い道路の状況は把握しているのか。

**A** 建設部長 建築基準法上の狭い道路となる、4メートル未満の通称2項道路についてお答えします。本市では戦後の復興が比較的早く、基地経済に支えられ、急激に市街化した背景から、複雑な線形や幅員の狭い路地が既存市街地に多く見られます。そのうち2項道路については、建て替えの際のセットバックにより、将来的には幅員4メートル以上の道路となり、狭い道路が解消されることとなります。

**Q** 国土交通省の狭い道路整備事業とはどのようなものか。活用できないか。

**A** 建設部長 当該事業は、狭い道路の解消による安全な住宅市街地の形成を図ることを目的に、地方公共団体が行う調査や拡幅整備、また個人が行うセットバック部分の整備に対して交付される社会資本整備総合交付金事業で、令和5年度で終了予定とされており、現在のところ県内で活用している自治体はありませんが、狭い道路の解消に向け、関係部局が持つ狭い道路に関する情報を収集し、効果的な対応策について調査研究していきたいと考えています。

### その他の主な質問

○沖縄こどもの国の機能拡充について  
○発達に気になる子について

## 本市の財政状況について



町田 裕介 議員

**Q** 本市の財政状況についての見解(財政力指数、経常収支比率、実質収支比率等)を伺う。

**A** 企画部長 令和2年度の数値を基にお答えします。財政力指数は自治体を運営するのに必要な経費に対する税収等の割合で、0.599です。実質収支比率は経常的な一般財源の規模を示す標準財政規模に対する実質収支の割合で、10.2%となっており、県内他市と比べいずれも現時点で懸念するような状況ではありません。

市税等の経常的な収入である一般財源が、人件費や扶助費等の経常的な支出にどの程度充てられるかを示す経常収支比率については、90.8%と増加傾向となっており、財政構造の硬直化が進んでいることが示されています。

**Q** 体力以上の借金負担割合と将来負担すべき実質的な負債についての見解(実質公債費率及び将来負担比率)を伺う。

**A** 企画部長 実質公債費率は、公債費による財政負担の度合いを判断する指標で6.2%となっており、公債費負担適正化計画の策定が求められる基準の18%を下回っており、健全な状況です。将来負担比率は、一般会計が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率で、31.5%となっており、財政健全化計画の策定が義務付けられている基準の350%を下回っており、健全な状況です。

**Q** 本市の財政状況に関して将来の見通しについて。

**A** 企画部長 本市の財政状況は、児童福祉費や生活保護費、社会福祉費などの扶助費や物件費などが増加傾向にあるほか、公共施設の整備、建替え等の関連経費等も重なり、これらに伴う収支不足を財政調整基金からの繰入れで対応しています。今後も経済状況の悪化による税収減や災害の発生による支出増への対応等に備え、必要な基金残高を確保し、継続して安定的な財政運営が図れるよう努めていく必要があると考えています。

### その他の主な質問

○デジタル田園都市国家構想の推進について  
○(仮称)沖縄市文化振興条例の制定について

## 循環バス運行について



新屋 勝 議員

**Q** 令和4年度の運行でルートの変更などはあるか。

**A** 建設部長 本市循環バスは市内を4ルートで運行しており、令和4年度の変更点は、北部ルートでは他ルートへの乗り継ぎ機会を増やすため、バス発着点を従来のかりゆし園前から沖縄市役所前へ変更し、沖縄市民会館前バス停を登川方面向けに新規追加しています。中部ルートでは、バス停オーナー変更に伴うバス停名称変更が1か所あります。なお、西部・東部ルートについては変更はありません。

**Q** 市役所バス停は発着点となっていることから、利用者が多い気がする。雨天や暑さ対策などのため屋根が必要だと思うが、早急な屋根付きバス停の設置ができないか伺う。

**A** 建設部長 現在、市役所前バス停には寄贈のベンチが設置されていますが、バス利用者の利便性向上には快適な待合環境づくりは大事なことだと認識しており、日除けや雨除けを望む声があることも承知しています。バス停上屋の設置については、新設及び維持管理にかかる財源の捻出等の課題もあることから、関係部署と協議し、検討していきたいと考えています。

**Q** 市役所前にバスが集中する時間帯はバスが離れて待機しており、利用者からは分かりづらいという声があるが、庁舎前の中央部の広場を整備するなどの対策ができないか伺う。

**A** 建設部長 市役所前バス停には4ルートが乗り入れ、時間帯によってはバスが4台重なることもあるため、当該バス停や近くの場所を待機するなど、臨機応変に対応しています。市庁舎前線の中央部などを活用した循環バス停留施設整備の可能性について、関係部署と協議し、検討していきたいと考えています。

### その他の主な質問

○西森公園の整備について  
○国指定名勝「アマミクヌミイ」に追加指定された越来グスクの保全に関する計画について

## 議会活動(3月~6月)

3月		
2日	令和4年第1回沖縄県市町村総合事務組合議会定例会	那覇市
4月		
22日	令和4年度沖縄振興拡大会議	那覇市
21日~23日	広島東洋カープ応援並びに関係機関への表敬訪問	広島県広島市
5月		
2日~4日	米沢上杉まつり	山形県米沢市
24日~26日	第98回全国市議会議長会定期総会	東京都
6月		
10日	沖縄県市町村振興協会 令和4年度第1回定時評議員会	那覇市

## 行政視察来市状況

月	日	団体名	人数	調査事項
4	6	長崎県議会、長崎市議会	2	沖縄アリーナについて

## 令和4年6月第421回 定例会会期日程

月	日	曜	日 程	備 考
6	15	水	施政方針・議案説明	施政方針聴取、議案の提案、説明
	16	木	議 案 研 究	議案の研究
~				
	21	火		
	22	水	代 表 質 問	各会派を代表して行う質問
	24	金		
	27	月	議 案 審 議	議案への質疑（委員会付託及び付託省略）、討論、採決
	28	火	常 任 委 員 会	総務、教育福祉、市民経済、建設委員会における付託案件の審査
	29	水		
	30	木	特 別 委 員 会	基地に関する調査特別委員会
7	4	月	一 般 質 問	市の行政事務についての質問
~				
	7	木		
	8	金	一 般 質 問 委員 長 報 告 議 案 審 議	市の行政事務についての質問、各委員会における審査報告及び採決、議案の提案、説明、追加議案の審議

### 議員表彰

令和4年5月27日に開催されました「第98回全国市議会議長会定期総会」において、議員15年以上（一般表彰）が市政の繁栄と住民福祉の増進に尽くされた功績に対し、賞状の授与があり6月15日招集の第421回6月定例会において報告され、表彰伝達式が行われました。



左（小浜議長） 右（瑞慶山副議長）



左（小浜議長） 右（前宮議員）

☆ 一般表彰 議員15年以上 【瑞慶山良一郎副議長】、【前宮美津子議員】

### 感謝状

令和4年5月27日に開催されました「第98回全国市議会議長会定期総会」において、小浜守勝議長に地方財政委員会委員として感謝状が贈呈されました。6月15日招集の第421回6月定例会において報告され、感謝状伝達式が行われました。

☆ 感謝状 委員【小浜守勝議長】



左（瑞慶山副議長） 右（小浜議長）

### 賛否の分かれた議案

議案番号	議案名	議決結果	会派躍進				公明党				護憲凍の会				にぬふあ星おきなわ		一志会		自民党 暁		創志		かがやき		会派 群星		日本 共産党			
			柴野比和光	島田 茂	喜友名朝彦	新屋 勝	小浜 守勝	阿多利 修	上地 崇	藤山 勇一	高橋 真	高江洲義八	眞榮城 健二	喜友名 秀樹	諸見里 宏美	宮城 浩	屋富祖 功	稲嶺 隆之	小谷 良博	金城 由美	新里 治利	瑞慶山良一郎	町田 裕介	仲宗根 誠	嵩元 直萌	伊禮 悟	大城 隼	桑江 直哉	伊佐 強	池原 秀明
第361号	沖縄市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決 18:8	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×
第362号	沖縄市特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	可決 18:8	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	

第420回臨時会において賛否があった議案について ※議長は採決に加わりません。

※ ○：賛成 ×：反対 -：不在（退席含む） 欠：欠席

## 6月定例会で可決された意見書・抗議決議

下記の3件の意見書・決議が可決され、関係機関へ提出されました。

- 障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律の改正を求める意見書
- 米海兵隊員による暴行被疑事件及び酒気帯び運転に対する意見書
- 米海兵隊員による暴行被疑事件及び酒気帯び運転に対する抗議決議

※紙面の都合上、意見書・決議のタイトルのみを掲載いたします。

意見書・決議文をご覧になりたい方は、沖縄市議会ホームページ「可決された意見書・決議」のページよりご覧いただけますようお願いいたします。

・沖縄市議会ホームページ 可決された意見書・決議ページ URL

<https://www.city.okinawa.okinawa.jp/k046/shiseijouhou/shigikai/139/433/index.html>

### 議会だより編集委員会より

編集後記

議会報編集委員会委員長 伊禮 悟  
副委員長 眞榮城 健二

ハイサイ、市民のみなさま、チューウガナビラ。「議会だより」の編集を担当しております「議会報編集委員会」委員長の伊禮 悟と申し上げます。トーサイ ミーシッコヨーティ ウタビミシェーピリ（宜しくお願い致します）。

「議会だより」は市民の皆様にも、議会の内容や一般質問、会派代表質問、各種委員会の視察研修などを中心に掲載してまいりました。が、限られた紙面で議会活動を伝えることの難しさを「議会報編集委員会」一同、痛感させられました。その課題を打破し、市民に愛読される「議会だより」を目指し、編集委員一同編集会議を適宜行い、3つの点に着目し取り組んでまいりました。

最初に取り組んだのは、高齢者にも読みやすくなるように文字を大きくしました。2点目は、表紙の刷新でした。「沖縄市の樹木」や「沖縄市の文化財」シリーズを取り入れることです。写真は沖縄市文化協会写真部の協力を得て、「沖縄市の樹木」シリーズは1年間表紙を飾りました。「沖縄市の文化財」シリーズは、残念ながら未完のまま終了しました。

3点目は「議会だより」の全ページ、フルカラーへの刷新です。この3点を達成できたのは、議会事務局のお力添えがあったことを、「議会報編集委員会」一同、心より感謝申し上げます。市民のみなさま、2018年9月から2022年8月発行の「議会だより」には、そのような思いを込めて編集してまいりました。

最後に琉歌を紹介して編集後記と致します。4年間、ご愛読ありがとうございました。

四海波立ていてい 硯水なちん  
(シケイ ナミタティテ シジリミジナチン)

思事やあまた 書ちん足らん

(ウムクトウヤ アマタ カチンタラン) 平敷屋 朝敏

訳) 四方の海に波を立てている水を硯の水にしても、思うことは山ほど多く、自分の思いを書き尽くすことはできないことだ。



【 議会だより編集委員会 】  
伊禮 悟 (委員長)、  
眞榮城 健二 (副委員長)、  
島田 茂、町田 裕介、  
稲嶺 隆之、嵩元 直萌、  
上地 崇、金城 由美、  
桑江 直哉、前宮 美津子



# 令和4年5月第 420 回臨時会審議結果一覧

提出者	番号	件名	議決月日	結果
市長	議案第 359 号	専決処分の承認を求めることについて	5月30日	承認
〃	議案第 360 号	専決処分の承認を求めることについて	〃	〃
〃	議案第 361 号	沖縄市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	〃	原案可決
〃	議案第 362 号	沖縄市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	〃	〃
〃	議案第 363 号	沖縄市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	〃	〃
〃	議案第 364 号	令和4年度沖縄市一般会計補正予算（第1号）	〃	〃
〃	議案第 365 号	令和4年度沖縄市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	〃	〃
〃	議案第 366 号	令和4年度沖縄市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	〃	〃
〃	議案第 367 号	令和4年度沖縄市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）	〃	〃
〃	議案第 368 号	令和4年度沖縄市土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）	〃	〃
〃	議案第 369 号	令和4年度沖縄市水道事業会計補正予算（第1号）	〃	〃
〃	議案第 370 号	令和4年度沖縄市下水道事業会計補正予算（第1号）	〃	〃
〃	議案第 371 号	副市長の選任につき同意を求めることについて	〃	同意
〃	報告第 175 号	専決処分の報告について	〃	報告

# 令和4年6月第 421 回定例会審議結果一覧

提出者	番号	件名	議決月日	結果
市長	議案第 372 号	沖縄市議会議員及び沖縄市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例	7月8日	原案可決
〃	議案第 373 号	沖縄市立学校給食センター設置条例の一部を改正する条例	〃	〃
〃	議案第 374 号	沖縄市国民健康保険条例の一部を改正する条例	〃	〃
〃	議案第 375 号	沖縄市介護保険条例の一部を改正する条例	〃	〃
〃	議案第 376 号	沖縄市建築基準法施行手数料徴収条例の一部を改正する条例	〃	〃
〃	議案第 377 号	こどもの国公園東ゲート周辺エリア整備工事の請負契約について	〃	〃
〃	議案第 378 号	財産の購入について	〃	〃
〃	議案第 379 号	監査委員の選任につき同意を求めることについて	6月27日	同意
〃	議案第 380 号	監査委員の選任につき同意を求めることについて	〃	〃
〃	議案第 381 号	令和4年度沖縄市一般会計補正予算（第2号）	〃	原案可決
〃	議案第 382 号	令和4年度沖縄市下水道事業会計補正予算（第2号）	〃	〃
〃	議案第 383 号	沖縄市循環バス車内転倒事故に関する和解等について	7月8日	〃
〃	議案第 384 号	沖縄市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	〃	〃
〃	議案第 385 号	コザ運動公園隣接駐車場建設工事（その3）の請負契約について	〃	〃
請願	請願第 4 号	「障害者虐待の防止、障害者の擁護者に対する支援等に関する法律」に虐待発見時の行政への通報義務対象に「医療機関における障害者虐待」を加える法律改正を求める意見書の採択に関する請願	〃	採択
議員	意見書第 17 号	障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律の改正を求める意見書	〃	原案可決
〃	決議第 17 号	米海兵隊員による暴行被疑事件及び酒気帯び運転に対する抗議決議	〃	〃
〃	意見書第 18 号	米海兵隊員による暴行被疑事件及び酒気帯び運転に対する意見書	〃	〃
市長	報告第 176 号	令和3年度沖縄市一般会計予算繰越明許費繰越計算書の報告について	6月27日	報告
〃	報告第 177 号	令和3年度沖縄市土地区画整理事業特別会計予算繰越明許費繰越計算書の報告について	〃	〃
〃	報告第 178 号	令和3年度沖縄市水道事業会計予算繰越計算書の報告について	〃	〃
〃	報告第 179 号	令和3年度沖縄市下水道事業会計予算繰越計算書の報告について	〃	〃
〃	報告第 180 号	令和3年度沖縄市土地開発公社事業報告及び決算の報告について	〃	〃
〃	報告第 181 号	令和3年度公益財団法人沖縄こどもの国事業報告及び決算の報告について	〃	〃
〃	報告第 182 号	令和4年度沖縄市土地開発公社事業計画、予算及び資金計画の報告について	〃	〃
〃	報告第 183 号	令和4年度公益財団法人沖縄こどもの国事業計画及び予算の報告について	〃	〃
監査委員	報告第 184～191 号	例月出納検査報告書	7月8日	〃
〃	報告第 192 号	定期監査の結果に関する報告について（提出）	〃	〃
議長	報告第 193 号	諸般の報告	〃	〃